



平成25年11月6日



棚田の防人隊、仲間は30名

「人の心をいやす黄金の穂・ススキ」。いったん耕作地に侵入すると厄介者、嫌われ者の筆頭格。この夏はススキ・雑草との戦い、そしてイノシシ・シカとの知恵比べ、その勝負は…五分・五分の引き分け？…。

「よく働く人は知恵が出る、いい加減な人はグチが出る、していない人はいいわけ」ができる。農さと隊の仲間とはとにかくよく働く仲間が集まっている…泉の如く知恵が…楽しみです。



園児・大きな"サツマイモ"に、笑顔！

町立吉川保育所園児(42名)、先生(5名)が、棚田で初のサツマイモほり体験する。久しぶりにかわいいうる歓声が棚田に沸く。

5月の活動日に植えたサツマイモの苗はシカ・イノシシの被害なく見事に生育。可愛いゲストを迎えるために手塩に育てた大地の恵み"サツマイモ"です。

農さと隊の仲間は園児たちを拍手で迎える。イモほり体験舞台に一点の曇りはない。泥んこも気にしない園児たち、可愛いモミジの手にぶら下がる大きなイモ。中にはネズミにかじられたイモもあり、これまた笑いを誘う体験です。大きなイモを両手に、満足げな笑顔「やったね！」のポーズは最高だ。園児の笑顔・笑い・楽しい歓声が漂う中、農さと隊の仲間から風船芸を披露する特別メニューに拍手喝采…風船からウサギさんが…。園児たちはいっぱい笑顔とお礼を棚田に残してくれました。ハイタッチでお別れ…、また来年もきて下さいね。(2013.11.6)



▲イモの顔を見つけ、掘る。モミジの手。



▲早く写真を撮ってよ



▲風船芸に目を白黒、楽しいひと時…



◀ハイタッチをして帰る。お土産はサツマイモが…おもしろいよ～

◀顔より大きなサツマイモをゲット